



【地震災害編】

■ 地震で考えられる被害

● 建物倒壊・家具転倒

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒によるものであり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めています。



木造建物の被害の例

● 土砂崩れ

地震などの影響で、急な斜面が突然崩れ落ちてきます。



土砂崩れの被害の例

● 液状化現象

地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などでは、地震の激しい揺れにより、地盤が一時的に液体のようにやわらかくなる液状化現象が発生します。



液状化現象の被害の例

● 雪崩

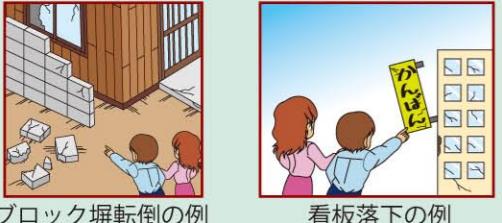
積雪期に地震が発生すると、雪崩が発生する可能性があります。



雪崩の被害の例

● ブロック塀の転倒・落下物

地震の揺れにより、ブロック塀や自動販売機が転倒したり、看板やガラス等が落下する危険があります。

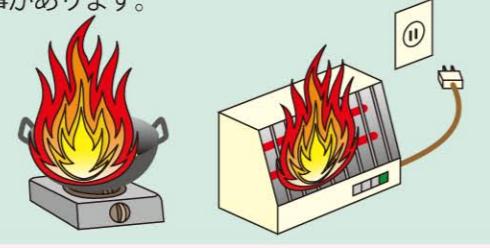


ブロック塀転倒の例

看板落下的例

● 火災

地震の揺れにより、暖房器具が転倒して火災が発生したり、停電からの電力復旧に伴い、電線等が損傷し上下水道、ガス、電気などのライフラインが使えなくなります。



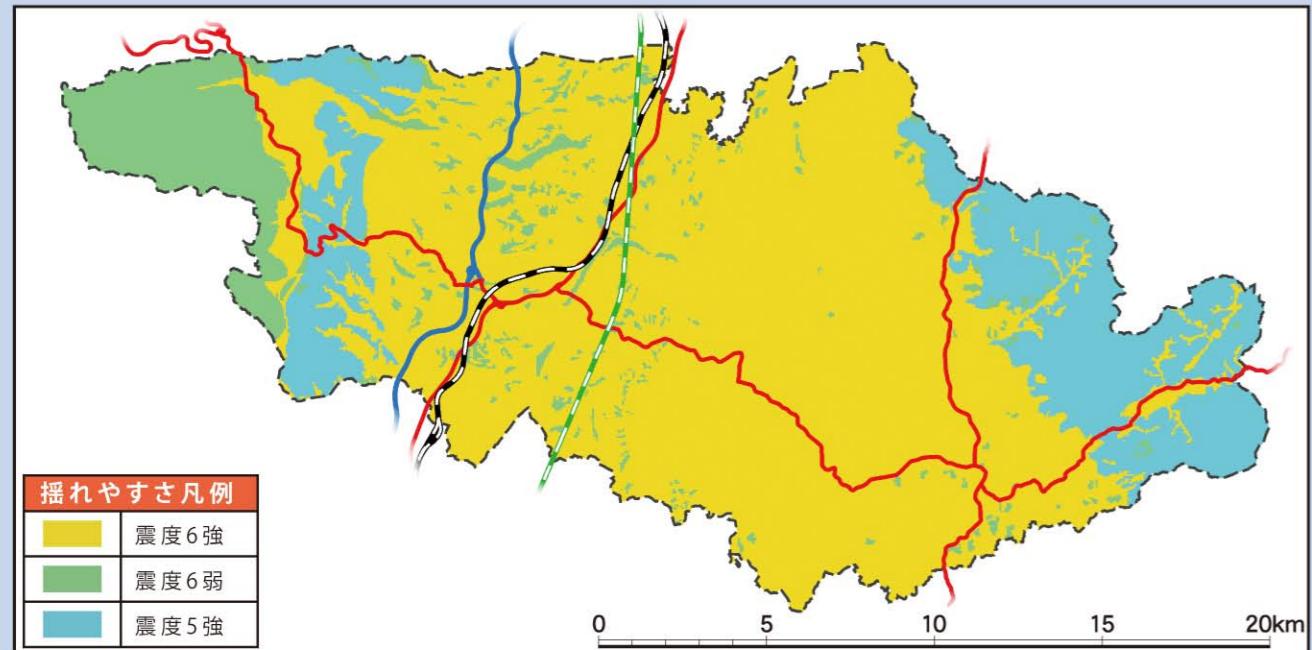
● ライフライン被害

地震の揺れにより、水道管、ガス管、電線等が損傷し上下水道、ガス、電気などのライフラインが使えなくなります。



■ 二本松市に影響を及ぼす地震(二本松市地震防災マップより)

■ 揺れやすさマップ



※市ウェブサイトで確認できます。

● 揺れやすさマップについて

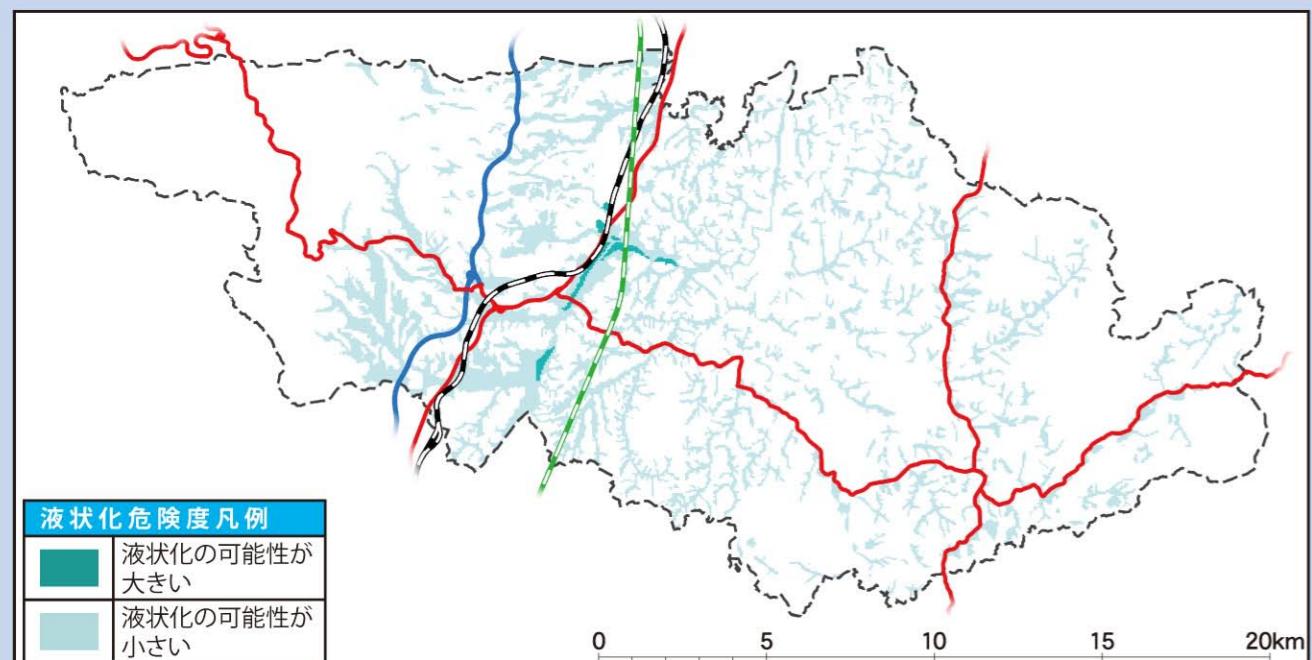
このマップは、二本松市に大きな影響を与えることが予想される地震のうち、最も大きな震度が予想される、「内陸直下の地震*」を想定して揺れの大きさを計算して作られています。

*内陸直下の地震とは?

地球の表面をおおっている「プレート」という固い岩石の層のうち、海のプレートが陸のプレートを押すことで、海や陸のプレート内に様々な力がかかり、プレート内の弱い部分が破壊され地震が発生します。それが陸側の浅いプレート内で起こる地震が内陸直下の地震です。

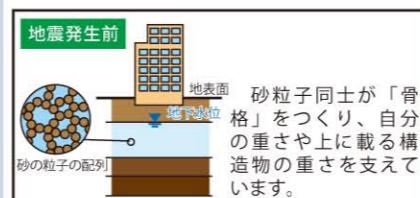
各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

■ 液状化危険度マップ



● 液状化とは

液状化とは、地震により砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになり、周辺が地下水で満たされた地盤が泥水となり、地盤の強度が弱まったり、地盤の沈下が発生する現象です。



【地震災害編】

■ 地震発生時の行動

まずは身の安全の確保! あわてずに冷静に行動しよう!

緊急地震速報

3分

- 家族等の安否を確認
- ドアを開けて、出口を確保
- 火元確認、初期消火



5分

- まず第一に身の安全を確保
- 頑丈な机の下などに入る
- 倒れてくる家具や落下物に注意

数時間



3日ぐらい

- 隣近所の安否確認
- 火災発生時は、119番通報し、協力して消防器などで初期消火、危険を感じたら無理せず避難
- 要配慮者などを支援
- 下敷きになった人を協力して救出
- ケガ人の応急手当



避難生活では

- 非常持ち出し品や備蓄品でのぐ
- 危険な建物には入らない
- 正しい情報を入手し、余震に注意
- 帰宅困難の場合、無理して帰らない



- ルールを守る
- 避難者同士が互いに協力する
- 助け合いの心で行動する

■ 地震に備えて

我が家とその周辺の点検と対策

● 屋根

屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

● 窓ガラス

飛散防止フィルムを貼つたり、厚手のカーテンで割れた窓ガラスの飛散防止を行う。

● 耐震診断・改修

専門家にチェックしてもらう。

● ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

● 感震ブレーカー

電気を遮断してくれる。

● ブロック塀

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

● プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

● つかえ棒で固定。

ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。

● 固定ベルトなどで固定。

食器や本など、中のものが飛び出さないようロックをかける。

● 転倒防止シールなどで固定。

収納は重いものを下へ、軽いものを上に入れる。(家具転倒の軽減)

家具の配置のポイント

